



ヤング創造アドベンチャー

特集/LL80プラン P.6

～いきいきとして美しい富山型長寿社会をめざして

エッセイ/雪山隆弘

親不知からおやっ知ってる——の、北陸海道へ。——表紙2

PINUP TOYAMA

夜店——P.12

TRIP 県政

ヤング創造アドベンチャー——P.14

ふるさとみである記

舟橋村——P.16

シリーズ:とやま心象

豊穰を祈る風の祭り——表紙3

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報



1988
No.236

9

親不知から

おやっ知ってる

の北陸海道へ。

親不知——どころか、みんな知ってる北陸海道」といった感じ。海岸高架橋が完成しましたね。七月二十日の新聞は、たくさんの「祝、祝、祝」で埋まりました。

人も、物も、東へ、北へ——ぐーんとワイドになって、ほんとに便利な世の中になりましたね。わたしの住んでいる宇奈月町浦山は、黒部インターまで約六分。富山へは四十分。そして東へ走れば二十分ちよつと県境。そして新潟となりました。けっこうなことです。

善巧寺若院 雪山 隆弘

有難いことです。長生きはせんならんもんじやと近所のおばあちゃんもよろこんでいます。

いつだったか、妹家族が東京から帰ってくる時、雪で汽車がストップして、長岡まで吹雪の中を車で迎えに行ったことがありますがこれがなんと片道六時間の難行で、グツタリしたことがあります。それでは夏は車で……とやってきたら途中で集中豪雨。二日かかってやっと到着なんてこともありました。あんなことも、もうなくなるんですねえ。



ところで、便利になって、富山のエビやらブリがあっちへ行つて、お客がこちへやってくる……と、いいことばかりじゃなくて、道がよくなると、悪いものもどんどんやってきます。損した、困ったということもけっこうふえるんじゃないかしら。物売りなんか、どんどんやってきて、そう訪問販売、気をつけましょうね。九州から関西から、関東からもネラっていますよ。現にずいぶん、うちの近くでも被害にあっています。

さて、こうした目先のことだけではなくて道が変わると文化も変わります。十年、三十年、五十年先という息の長い話かもしれないけれど、これまでわたしたちの先祖が育ててきた文化が、確実に変わってゆくはずですよ。

わたしは子供たちと劇団をやっているのだから、ことばというものは敏感なんです。変わってしまふわが町宇奈月は、いままて関西文化圏の行きどまりだったように、アクセントやイントネーションに関西弁の響きを感じていたんですが、今度の高速一本で、間違いなく、関東文化がドドッと入ってくる。知らず知らずのうちに、わたしたちが使っている言葉も変わっていくでしょうね。

「なにいうとんがよー、だらー」

「てやんでエ、べらぼうめー」

ま、それほど極端ではないかもしれないけれど、ことばも、心も、道一本で、変わってゆくことを子孫のためにも忘れておきたいですね。



ガンバッてるね、 63年度勤労青少年クラブ労働大臣褒賞、受賞。

手話サークル「たんぽぽ」

「わたしは、手話が、少し、でき、ます。」

魚津市民会館で、手話教室がにぎやかに開かれています。先生は、「たんぽぽ」の皆さん、魚津市勤労青少年ホーム内にある手話サークルの面々です。

十五年前、島先さんらろうあ者の方々の手話講習会を開いたのがきっかけで結成されましたが、現在十五歳から六十代まで、三十四人の会員がいます。

毎週月曜日には、全員集まって勉強会、そして、依頼があれば結婚式や授業参観、家庭訪問等、手話通訳に出かけます。「とにかく行事が多いんです。新年会に始まり、しんきろうロードレース、キャンプ、うおづ祭りの蝶六町流しなど。日曜日はほとんど出かけます。」と会長の藤田秀治さん。

これらの活動が認められ、今年度勤労青少年クラブ労働大臣褒賞と第六回日本キワニス青少年教育賞を受けました。

「近所のろうあ者の方とあいさつくらいできるようなれればと思つて入りました。覚えるのは大変だし、読み取りも難しいですが、県内外のサークルと交流できるので、友達の輪が広がっていいですよ。」

「手話もかなり変わってきています。また、新しい言葉もどんどん出てくるので勉強していかないとけません。今、「ホテルイカ」「しんきろう」の表現方法を皆で考えているとか。「講習会などをきっかけに、もっとメンバーを増やし、交友を深めていきたいです。」ますます腕に磨きのかかる皆さんです。

水の日、水の王国とやまからメッセージ

8月1日「水の週間」記念行事テレビトーク

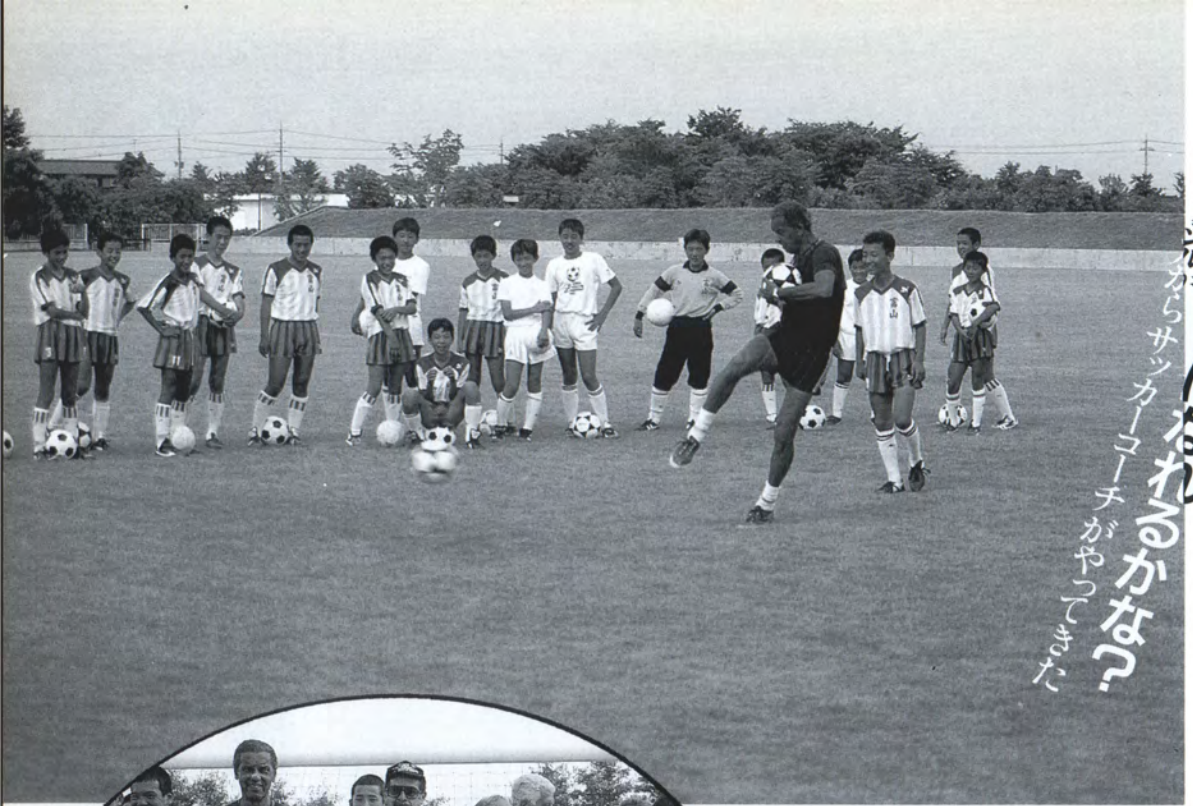
利賀村野外劇場と東京を衛星回線で結んだテレビトークが行われました。富山からは、中沖知事、宮崎利賀村長、鈴木忠志SCOT代表が、東京からは内海国土庁長官、高秀水の週間実行委員会会長が出席。利賀村の自然と水、芸能、溪流祭等の美しい映像も送り、三十分間にわたり、水と人とのかわり方を考えました。



県内外の企業人等約五百人を富山に招き、本県の優れた企業立地環境、観光資源を具体的にPRしました。

一行は、医薬大和漢薬研究所、八尾中核工業団地等を視察したあと、八尾町おわら会館へ。知事による富山のPR、盛永宗興花園大学学長の講演に続いて、富山の味覚と郷土芸能を存分に味わいました。二十九日には、富山新港、立山黒部アルペンルート等も視察し、富山の印象を深めました。

おしゃべりプロ野球選手がやまからサッカーコーチがやまにきた



富山県とブラジルサンパウロ州との友好提携三周年を記念して、州推薦の三人のサッカーコーチが来県しました。一行は、七月二十三日～二十六日にかけて岩瀬スポーツ公園で小学生から一般までの選手を指導。サッカーの本場のプロのテクニクに選手たちは目を白黒しながらも、真剣にボールを追っていました。二十四日には、県内サッカー指導者との交流も行われ、一層の友好を深めました。



富山を売り込め、PR大作戦

7月28日「88い」とやまオーラム



8月6日 カリフォルニア大学サンディエゴ校サマースクール公開講座

今夏、利賀村で開校されたカリフォルニア大学サンディエゴ校サマースクール。この一部が、県民大学校夏季特別講座として井波町で公開されました。講師はスティーブン・ピアリン演劇部助教授、ロビン・ハント コミュニケーション学部客員教授。日本の魅力やコミュニケーションについて、ユーモアやパントマイムをたっぷり盛り込んで講演し、会場をわかせました。

ユーモアやパントマイムにわいた



アジアの国々に友好のかけはし



「日本海をめぐる富山県友好の船」訪問コース

船内



▲7.15 ソウル景福宮でチマチョゴリに変装

韓国



▲7.16 慶州の陶芸工場。さすが本場 7.14 期待いっぱいのオリンピック会場で

ソ連・ナホトカ



▲7.19 日本人墓地で合掌 ▲7.19 ピオニールキャンプで子供たちとダンス



▲7.16 慶州の陶芸工場。さすが本場



▲7.10 合同交歓夕食会、新川ブロックは地元の民謡せりこみ蝶六を披露

遼寧省



▲7.10 ホテル遼寧大屋前で歓迎してくれた子供たち



▲7.9 大連のサッカー学校で大歓迎

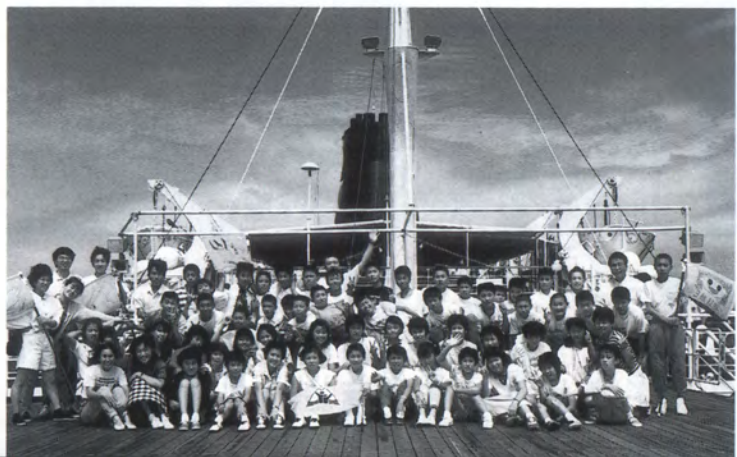
第十八回明日を拓く青年の翼、第八回豊かな郷土を拓く婦人の翼の一行三百三十九人は、十六日間の日程で中国、韓国、ソ連を訪問しました。

日本海をめぐる富山県友好の船

7/6~21

富山県ふれあいの船'88 7/21~26

の健全育成を図るとともに高齢者の生きがいを高めるのが目的。船内では、ゲームやレクリエーションで世代間交流を図り、二十三日には釜山港に上陸。釜山市、慶州市を訪れ、韓国の歴史や伝統を物語る史跡や町並みを見学しました。



二十一日には、県内の小中高生と高齢者四百七十一名が六日間の日程で韓国へ出発しました。これは、次代を担う青少年に船上生活を体験させながら、高齢者との交流、仲間との友情を深めることよって青少年



第18回 富山県青年海外派遣団 日本海をめぐる富山県友好の船 明日を拓く青年の船

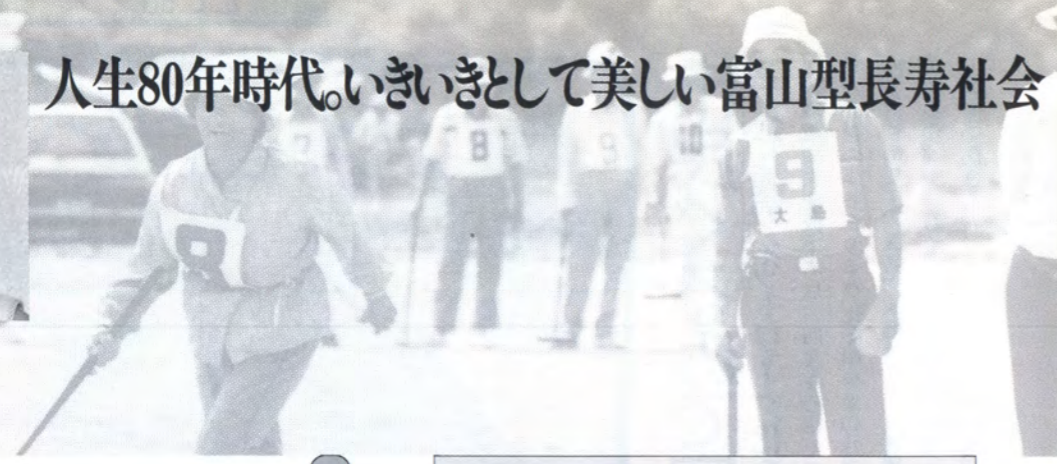
LL80 プラン

LOVELY LIFE (美しく)

LIVELY LIFE (いきいきと)

LONG LIFE (長生き)

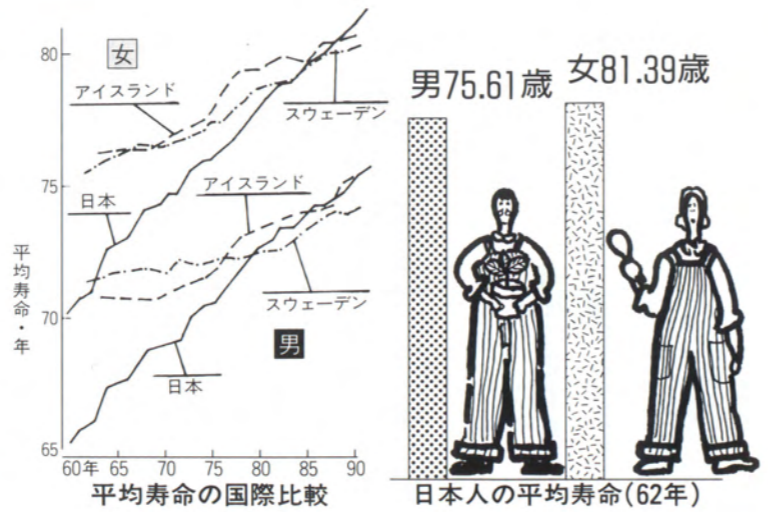
人生80年時代。いきいきとして美しい富山型長寿社会の実現をめざして



LL80プラン

人生80年時代の社会システムづくり
長寿社会の基盤づくり

- すこやかで安心して暮らせる社会
 - 健康の保持・増進
 - 福祉サービスの充実
 - 保健・医療・福祉の連携
- 能力に応じてはたらき豊かに暮せる社会
 - 高齢者の雇用就業機会の確保
 - 中高年勤労世代の活力の向上
 - 生活基盤の充実
- 便利でやさしく、安全なすまいが確保される社会
 - 安定したゆとりのある住生活の確保
 - 安全で住みよい生活環境の形成
- いきいきと心豊かでいきがいのもてる社会
 - 生涯学習の推進
 - 社会参加活動等の推進
 - いきがい就労の推進
- 県民意識の高揚



どっぴり生きてますか、80年
豊かな老後のために

日本人の平均寿命は年々伸び、女性は世界一、男性は二位とみられ、世界のトップクラスです。同時に、人口の高齢化が世界に類のない早さで進んでおり、二十一世紀には四人に一人が六十五歳以上になると予想されています。富山県の場合、高齢化は全国平均よりもさらに七、八年早く、予想では二〇二〇年代には、二十七パーセントが高齢者とか。このように急速に高齢化が進むと、年金、福祉、医療、住宅、雇用等いろいろな面にひずみが出てきます。

そこで、県では、「県民誰もが、人生八十年時代を、美しく(LOVELY LIFE)、いきいきと(LIVELY LIFE)、長生き人生(LONG LIFE)を楽しむことのできる長寿社会」を実現するための指針を、LL80プラン中間報告としてまとめました。

二〇二〇年、今年生まれの赤ん坊は働きざかり、現在三十三歳のあなたは高齢者の仲間入りです。どうすれば豊かな長寿社会を築けるか、五つの例をおとして考えてみましょう。

80を前に全国自転車ツアーへ。

健康になるには、腰を鍛えること。……小山信雄さん(79)



私がサイクリングに取りつかれたのは五年前。ふと乗った孫のサイクリング車で金沢まで行ったのがきっかけです。往復したにもかかわらず全く疲れないものだから、面白くなって日曜日ごとに遠出をするようになりました。この年は、置県百年。私も記念にと県内の全学校と全市町村役場を回りました。校長や首長に署名をもらいながら四十日間、四百五十校。三、五〇〇キロを走りました。これで自信がつきまして、翌年は、喜寿記念に日本中を回ることになりました。まずは、本州三十四都道府県五、一五三キロを五十日間走破。ところが、転んで腰を骨折してしまつてね。入院一年、リハビリ二年。「まだ北海道、九州、四国が残っている。ここでやめられるか」と必死に訓練しましたよ。そして、今年七月ついに北海道へ。小樽から網走、帯広までを十二日間走りました。

いやー大雪山脈には参りました。自転車をひいて二十五キロ上りつめ。頂上まであと三〇〇メートルの看板が神様に見えました。ツアーの間の楽しみは、地元の人とのふれあい。小学校へもよく行きます。生徒からももらった手紙に「元気になる薬を飲んでいいのですか」というのがあって、参りました。一日でも休んだらイヤになるから雨が降ろうが風が吹こうが走り続けます。始めは根気が中ばは精神力、しまいに「こまて来てやめられるか」という執念です。「勝負は自分に克つこと」の意味がわかりました。健康になるには、腰を鍛えること。そうすれば足も強くなります。特別なことをしなくても、日常の中でラクをしなけりゃいいんです。私はどこへ行くにも歩くか自転車。昼は家業も手伝います。定年後、七十歳まで鍛えればあとは大丈夫です。今の年寄りの基準は、年齢でなく、歩く格好。私は若い人のまねをして、動作を機敏にするよう心がけています。もうすぐ、九州、四国へ出かけます。全国を征服して、八十歳の記念にしたいです。

市民ぐるみで寝たきり老人を介護

老人介護のネットワーク化をすすめる新湊市のボランティアのみなさん

新湊市放生津校下では、四月から寝たきり老人介護のネットワーク化を始めました。県内では初めて、医師、家庭奉仕員、保健婦、ボランティアが日を決めて訪問しています。岡田千代さん(70)、油谷たみさん(73)、橋詰や

ることができます。ボランティアの方々は、新湊市に三百四十二人。老人ホームの演芸慰問、シーツ交換、入浴介助や一人暮らし老人の給食奉仕もしています。ほとんどが五十代から七十代の方です。

す子さん(80)もボランティアとして毎週一回、老田みゆきさん(70)を訪ねています。「長いこと寝ているから、訪ねてくれる人が少なくて、この方々がおいてになるのが楽しみです」と老田さん。「二時から五時くらいまでいますが、話はずんで、しゃべりっぱなし。喜んでもらうとうれしくて。私たちも楽しみにしています。だから続けられるでしょうけど」と油谷さん。この間に家族の方は、外の用事を済ませ



「時間の許す限り手伝いをしています。忙しい方が頭も動いていてですよ」と橋詰さん。「皆ボランティア育成講座で介護の基本は習っているんですが、お手玉、折り紙、あや取りなど手遊びも勉強したいです。各人に応じたお世話をしたいですから」と岡田さん。長寿社会を支えるのは、高齢者の方々でもあります。

放電の場がほしくいまま私はおもちゃのお医者さん。

子供の笑顔がエネルギー源です。

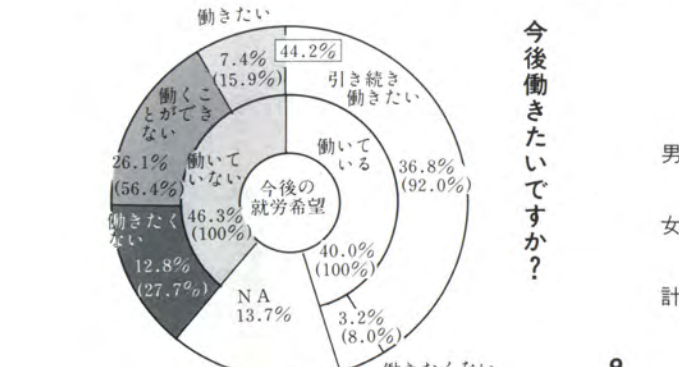
退職後、何か社会の役に立ちたいと思い、富士市のボランティア養成講座を受けました。すると、受けた教育を返さなければという思いがなお募つて。ところが、市には活動できるような組織がない。充電するけど、放電の場がないんです。そこで、講座の仲間に声をかけて、昨年、富士市高齢者ボランティア協議会を作りました。同じ思いの人が二十八名。各自の経験や技術を生かして活動しています。

富山市・軍記金作さん(72) いるわけてす。保育所へも行きますし、近所からもよく修理を頼まれます。いつそおもちゃの診療所でも開きましようか。日中は、家にはいません。私も一人ですが、一人暮らし老人を訪問したり、車いすの方の介助をしたり、歩こう会の世話をしたり。富士の空気がだけじゃダメだから、県外へも勉強に行きます。医科薬科大学の公開講座を受けていますが、今年で三年目。和漢薬にはかなり詳しくなりました。児童心理学の勉強も始めました。



私は、市の「おもちゃの図書館」へおもちゃを直しに行っています。「おじちゃんだ」と子供たちは喜んで迎えてくれます。子供と遊びながらおもちゃの様子を聞き、都合の悪い所を直していきます。付き添いのお母さんの悩みや心配ごとを聞くこともあります。核家族が多いから、相談相手がないんですよ。おもちゃを通して、心と心の交差点を磨いて

子供の喜ぶ顔と心のふれ合いは、私のエネルギーです。「また来てね」と言われると、力が湧きます。これからも一人でも多くの皆さんとふれ合いを持ち、一人でも多くの人の役に立ちたいです。



今後働きたいですか？

働いていますか？

男	働いている 53.8	働いていない 39.2	NA 7.0
女	働いている 34.3	働いていない 56.3	NA 9.4
計	働いている 43.0	働いていない 48.7	NA 8.3

老人福祉に関する実態調査

富山県在住の一般老人3000人の調査結果
昭和61年7月1日現在

低いお年寄りの求人倍率

全体	1.23倍
55歳以上	0.19倍

(昭和62年10月富山県)

富山県の寝たきりのお年寄り

65歳以上の老人	152,985人
65歳以上の在宅ねたきり老人	2,149人
65歳以上のひとり暮らし老人	5,813人

(昭和62年10月1日現在)

生きがいも健康も、仕事のおかげでじょうじね。

母が選んでくれた助産婦の道。寝たきりになっても続けますよ。

船田安子さん(73)

十六歳の時、母の推めで大阪の看護学校へ入学し、二十歳で助産婦を開業してから、一貫して母子保健に携わってきました。途中、保健婦として市に勤め、退職後再び開業して、今は新生児訪問、沐浴、出産の介助等に自転車でかけ回っています。仕事は忘れてしまいそうなくらい多いです。

病気が多い病気はしたことがありません。体重は若い頃からずっと一定。健康な証拠です。人に健康を進める立場ですからまず自分が健康でないとね。健康法は特にないけど、クヨクヨしない性格がいいのかしら。いつも前進、フアイト！です。

医学は日々進歩していますから、勉強は欠かせません。それに、付き合うのが若いお母さんだから、社会情勢なども勉強しないと。野球も好きです。孫とよくテレビも見ます。若いお父さんとも話が合うようにね。こんな人々とのふれ合いが私の生きがいになっています。

扱った子供の成長ぶりを見るとうれしいですよ。手のかかった子は、大きくなって覚えています。

今までの恩を社会に返すつもりで働い



ています。私がつけているもので皆さんが必要としているものならどれだけでも役立たせたい。たとえ体が動かなくなっても本を読んだり、話したりはできます。

これからもずっと続けていけますよ。

退職後、技術指導ボランティアとして中国へ

日本指向熱にはびっくり。どんな分野でも役に立ちますよ。

遠藤為康さん(65)



退職して、さてどうしようかと考えていた時に、たまたま新聞で「定年になって遊んでいる日本の技術者を中国へ」という記事を見ました。これだ！と思って日本シルバーボランティアズに登録しました。東南アジアに退職者を派遣している財団法人です。

戦争中、上海にいたので、中国へはすぐと行きたいと思っていました。派遣が決まった時はうれしくてうれしくて。

最初に行ったのは三年前。杭州の農業工場でした。そして昨年、今度は嘉興の製紙工場へ行きました。

中国の機械は、日本に比べて四十年くらい遅れています。旧式の機械を知っている私たちの年代がちやうどいいようです。滞在は二週間。この間に問題点をつかみ、公害防止の

ための技術指導をします。

向こうでは、熱烈歓迎。至れり尽せり、体の調子も日本にいるよりはずつといいです。妻には「中国に住んだら？」と言われるくらいです。

もちろん、技術者として行く以上は、機械設備の勉強は欠かせません。二年前からは、さびついた中国語を勉強し直すために市の外国語専門学校へ通っています。

近々、大連と鄭州へ行きます。これらの日本のためにも、アジアのレベルアップはぜひ必要です。その原動力は、十億の人口をもつ中国。彼らの日本指向熱はすごく、協力依頼はたくさん来ています。どんな分野でもいいから我々の知識や経験を役立てるべきです。体制の違いは大きな壁ですが、少しでも中国の力になりたいです。

長寿社会を支えるのは、若者だけではありません。国連国際人口会議(一九八四年メキシコ)では、「高齢者を扶養の対象としてではなく、社会に活発に貢献をする集団として見る必要がある」と宣言しています。高齢者の知恵と経験は、長寿社会に欠かせない力として期待されているのです。

一方、若い人も、今のうちから自分の老後を考えていく必要があります。健康、趣味、仕事——長い人生をいかに充実させるかは、あなたの考え次第です。

21世紀の長寿社会を考えましょう

いきいきとやま 第10回健康と長寿の祭典

とき／十月八日(出)〜九日(日)

ところ／県民会館

内容／シンポジウム
記念講演
(鈴木健二)
老人若返り祭り
映画
笑いと健康トークショー
(立川志の輔)
展示等

◎三十二万人の健康づくりフェスティバル

(十月八〜九日、富山市体育館)

◎88とやま健康ウォーク

(十月九日、県庁前〜呉羽山)

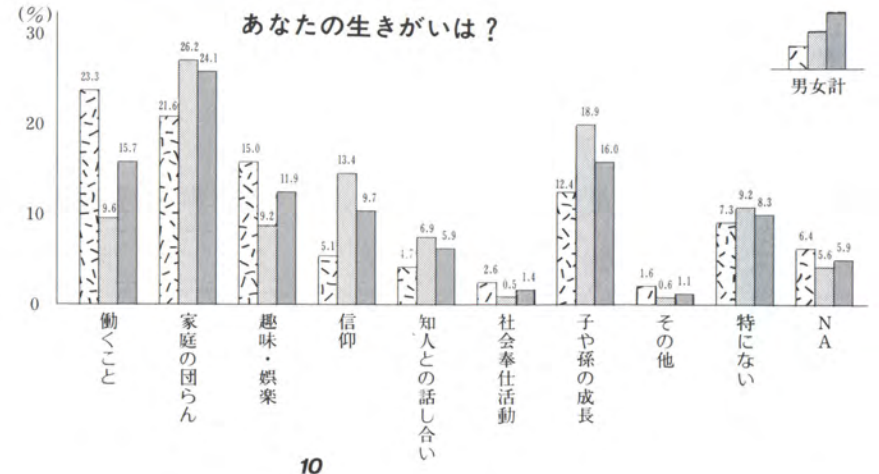
◎健康・福祉機器展

(十月七〜十二日、富山西武)

も開催されます。

どしどし参加ください。

※詳しくは、県庁公衆衛生課または高齢社会対策室へ。





夜店

沿道にところ狭しと

軒を並べる夜店

町は昼とは違った

装いを見せる

金魚すくいにヨーヨー釣り

子どもたちに両手いっぱい

思い出を残して

祭りの夜はふけていく

PIN-UP TOYAMA
PIN UP TOYAMA



立山の大自然の中で 身につけた実行力

「ヤング創造アドベンチャーに参加して」

富山市立呉羽中学校2年 山口 一也

八月一日〜十日、国立立山少年自然の家で小学生から高校生まで五十人が参加して、ヤング創造アドベンチャーが行われました。大自然の中で、子供たちは何を果たしたのでしょうか。参加者の一人、富山市立呉羽中学校二年の山口一也君のレポートです。

「10日間の経験を通して実行力を身につける」

僕は、ヤング創造アドベンチャーに参加するにあたってこんな誓いを立てました。

昨年はこの「ヤング創造アドベンチャー」に似た活動で「ヤング創造フェスティバル」というものがありました。今回は9泊10日と日数が3倍以上になり、こんな事業は県の教育委員会でも、また、お世話になった国立立山自然の家でも初めてということでした。

もちろん僕には初めての経験でした。集った人は縦割り、小学六年生から高校生までいました。中学生になると、三年生しかないためにどうしても「横」の関係になりがちなんですが、厚いと思っていた学年の壁を越えてみんなと知り合い、仲良くなれてよかったです。と思います。

講師の先生を迎えて話をうかがうという活動もありました。

高橋誠先生には創造性を学ぶということで、発想トレーニングをしていただきました。いつもぶっつけ本番という僕にはPLAN(計画)DO(実施)SEE(評価)という考え方もとても新鮮になりました。

フィールズ賞をとられた広中先生の話もたいへん面白かったです。また、さまざまな野外活動もありました。

ハウス造りでは、グループごとに材料運びからかやぶきまで全てやりました。途中で雨が降って困る日もあったけれどとても住みやすい家できました。

大辻山登山はとてもつらかったのですが、反対に、とてもすばらしい活動もありました。星のかんさつでは、きれいな星空や土星の輪、二重星を見ることができました。

五十人の仲間と最後にすごした夜のキャンプファイヤーも印象に残る活動だったと思います。

立山という自然に生き、自然に暮らし、僕自身自然について考え、また学ぶことができ、自然を身近に感じる事ができるようになったのではないかと思っています。

この企画がずっと続き、富山県の恒例の行事になっていけばいいと思います。

十日間のさまざまな活動の中で、僕は実行力・実践力を確かに身につけることができました。と思います。





舟橋村の概要
 面積 33.9平方キロメートル
 人口 1413人

面積、人口とも県内最小の村で、明治時代に起こった農民一揆「ばんどり騒動」発祥の地としても有名。常願寺川右岸の平野部にあり、地味肥沃な米産地となっている。また、近年は優良肉牛の生産がすすんでいる。

ふるさと
 みてある記

舟橋村

越中とやまの薬草畑

長年続けてきた薬草の研究を活かしてなんとか村おこしをと考えている人がいる。三鍋昌俊さん(73)がその人。

昌俊さんは、福井大学の教授時代から整腸剤として用いられる薬草オウレンを研究。退官した今でも、これを農家で栽培できるまでにし、舟橋村の特産にしようと研究を続けている。行



く行くは薬の富山の一翼を担うほどまでになればと、意欲は満々。
 「私がオウレンを研究しているのはその葉ぶりにほれてしまったから。その植物を好きにならんと研究ちやてきんちゃ。」

昌俊さんの自宅の裏にある研究所にはたくさん鉢が並ぶ。その中には小さい芽がたくさんでているもの、少しだけでているもの、まったくでないものもありさまざま。これらは肥料の濃度や栽培法など条件を変え栽培されている。

この中で昌俊さんが特に力を入れているのは電子栽培法。これは電子で根を刺激して肥料を吸収しやすくし、成長を早める栽培方法だ。電子は、土中の活性炭と、上からまかれる水の両方に含まれている。

「電子栽培をすると栽培期間も縮まり、収量も倍になります。まだ実験段階だけれども、実用化に向けて頑張っています。」

今、薬草で電子栽培を取り入れているのは昌俊さんだけ。どんどん新しいものにチャレンジする氏はオウレン畑の実現に向けて情熱を傾けている。

自然の味わい ほのほのさ

地鉄越中舟橋駅から徒歩三分。ばんどり騒動で有名な無量寺の前でピンクの花を咲かせているハス。三鍋昭吉さん(80)はこのハスの花托、種子、茎、葉などを乾燥させて、全国的にも珍しいハス人形の制作に取り組んでいる。



いし、時間に追われられないので、楽といえば楽です。ね。」

県内では、舟橋の他に魚津・黒部そして下新川郡方面で牛の飼育が盛ん。だが、肉牛といえ

そもそも昭吉さんがハス人形を作り始めたきっかけは、自宅で栽培しているハスを利用してなにかできないかと考えたことから。趣味と村おこしを兼ねて始めたハス人形作りも今年で五年目を迎える。



「ハス人形は手作りの素朴な味わいが特徴だから素

材を形に合わせて曲げたり、着色したりということは一切しません。例えば顔を作る場合には、顔の表情に見せる凹凸のある素材を選ぶんで



ばやはり舟橋和牛という程、評判が高い。その理由を島田さんはこう語る。
 「他のところは外国産の牛を飼育したりしているけれども舟橋はほとんどが和牛。また昔からの和牛飼育の伝統があつて品評会などで再三、優秀な成績を収めていたことなどから県内でも指おりの生産地として数えられるようになったんです。」

島田さんはこうしたおいしい舟橋和牛の伝統を絶やさぬようにと子牛の腹づくり(子牛が太れるように小さいうちは稲わら・牧草等育てること)や、よい餌の調合といろいろと工夫を怠らない。

「今、牛肉には質が求められています。安い外国産の牛肉に負けないためには、よりよい牛を育てていかなくちゃならないんです。島田さんは舟橋の特産を守るため今日も頑張っている。」

べつやぶやがに

和牛のふる里

古くから、和牛の里として有名な舟橋村。現在は村で七戸、百八十頭余りの牛が飼育されている。その中で今回訪ねた島田勇さん(80)は和牛の飼育を始めて十年余り。舟橋和牛を支える柱の一人となっている。

「朝はいつも四時半に起きています。そして餌やり、ふん尿の後始末、牛の体の清掃などを主にやっています。一年中休みがないというのはつらいけれども、乳牛に比べて手間がかからな



10月1日、県民カレッジ、オープン

充実の講座
あなたも参加を

講座名	テーマ等	日時等	会場	ねらい・内容等	
文化探究講座	哲学と人間	10月～12月 毎日曜日 10:00～12:00	教育文化会館	人間と世界に対する根源的な知を探究し、個別の諸科学を越えた視点から新しい価値を発見する。	
	長寿と医学	10月～12月 毎月曜日 10:00～12:00	教育文化会館	高齢化が進み、医学の進歩が目覚ましい中で、健康保持に対する意識や関心をいっそう高める。	
	町づくり・村おこし	10月～12月 毎水曜日 18:00～20:00 1月～3月 毎水曜日 18:00～20:00	高岡文化ホール 教育文化会館	地域開発の成果やひずみを見直し、住民の幸せにつながる町づくりや村おこしへの認識を深める。	
リーダー養成講座	ことばの魅力	10月～12月 毎土曜日 14:00～16:00 1月～3月 毎土曜日 14:00～16:00	高岡文化ホール 教育文化会館	人間だけが持っている「ことば」という不思議なもの。この「ことば」の本質とその魅力をいろんな角度から楽しく考えていく。	
	生涯教育指導者養成	10月13日・27日 11月4日・10日・25日 12月5日 9:00～16:00	教育文化会館	生涯教育推進の現状と課題、レクリエーションの実技、社会教育施設の事業計画と地域活動の進め方など。	
ボランティア養成講座	〈とやま学〉1 とやまの自然再発見	10月～12月 毎土曜日 14:00～16:00	教育文化会館	私たちを取り囲むとやまの自然の中で、つい見過ごしているもの、世界的に価値あるものを広い視野からとらえなおす。	
	〈とやま学〉2 とやまの宗教的風土	10月～12月 毎火曜日 18:00～20:00 1月～3月 毎土曜日 14:00～16:00	教育文化会館 高岡文化ホール	県民性の根底にある宗教的なものに視点をあて、その根源を歴史的に探究する。	
創造性開発講座 創造技法セミナー	創造技法 企画演習	10月17日～19日 2泊3日	高志会館	現代社会において強く求められている創造性を伸長するため、理論と実技を体験的に学ぶ。	
余暇文化講座	未定	1泊2日	未定	講師を囲んで話を聞き、直接討論することにより、うるおいとゆとりある学習をする。	
一般	秋季講座	「地域文化の向上と心の豊かさを求めて」	10月15日 14:00～ 22日 29日 19:00～	上市町北アルプス文化センター 新湊市中央文化会館	講師 永井道雄(青山学院大教授) 吉屋和雄(NHKアナウンサー) 木崎さと子(作家)
	テレビ放送講座	「立山信仰とその文化」	放送10月～12月 毎日曜日北日本放送 6:00～6:30 スクーリング10月、12月	スクーリング 教育文化会館	立山マンダラを通して「立山信仰とその文化」について学習する。番組名「立山、清浄への旅立ち」。
放送	ビデオ講座	「生命科学」	1月～3月 毎金曜日 18:00～20:00	教育文化会館	遺伝子操作などを含む新しい生物学について学習する。



県民カレッジ・開学式典・記念講演会

- 日時/10月1日午後4時より
- 会場/富山県教育文化会館ホール

講師/江崎玲於奈先生

演題/「二十一世紀の日本の課題」

入場無料。多数のご来場をお待ちしています。

※詳しくは、「講座案内」をごらんください。

問い合わせは **富山県生涯学習センターへ**

富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

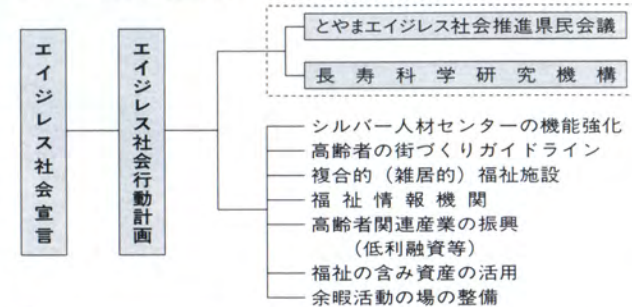
☎0764・41・6135

高齢化時代に向けて

今後、ますます進展する高齢化時代に向けて、豊かな人生80年時代を切りひらいていくためには、「若い」の意識を改革するとともに、自分の生涯を自分で設計し、自らの老いを楽しく生きることが大切です。

それぞれが年齢にとらわれることなく、いつまでも若々しく、積極的に生きていけるよう、「エイジレス社会宣言」を県全体で行い、そのための推進機関を設けることを提言しています。

そして推進機関の下に長寿や老人病について研究する「長寿科学研究機構」を設置したり行動計画に基づいて、高齢者の住みよい街づくりのためのガイドラインをつくったり、複合的な施設の実現やシルバー産業の支援なども考えました。



新たなコミュニティの形成

核家族化やマイホーム主義が家族や地域社会のあり方を大きく変え、社会性に欠ける子供の増加や老人の孤立化などの状況が指摘されています。

幸い、富山県は、大きな家族規模、優れた居住環境、高い定住性など新しい家族、地域社会のモデルとなる可能性をもっています。

そこで、このような特色を生かした、富山型の家族像、コミュニティ像を県民が共に考えるフォーラムの開催を提言しています。

また、コミュニティ活動を盛り上げるため、コミュニティ情報システムの形成、コミュニティ休暇の創設、コミュニティ基金の活用も提言しています。

国際化時代に向けて

21世紀には、国際的な相互依存関係が強まり、人、者、情報の交流が一層活発になるでしょう。

そこで、4年に1回、世界各国の民謡・舞踊グループが富山で競演する「民謡・舞踊オリンピック」の開催を提言しています。各国のグループが開催期間中、個人に分散して宿泊すれば、お互いの国の歴史、文化、生活について理解を深めることができるでしょう。

また、外国人が、不自由なく富山を旅行できるように案内版、地図、標識などにローマ字を併記すること、外国語の旅行マニュアルの作成なども提言しています。

このほか、帰国師弟のための全寮制中学校の設置、海外からの留学生を援助する「とやま基金」、留学生受入れ家庭の登録制度の創設や青年の発展途上国への派遣も提言しています。

●報告書を読みたい方、21世紀の富山県づくりに意見や提言をお持ちの方は、県庁企画調整室総合計画班☎0764(31)4111内線324まで、ご連絡下さい。

とやま
デザイン21
③

「とも」生きるための社会システムの創造から

富山の21世紀がどんな社会になるのか、たくましく21世紀を生き抜くにはどうしたらよいか。県庁の職員で構成する「とやま21世紀研究会」が研究した報告書「とやま21世紀への戦略(とやまデザイン21)」の概要を前回に引き続いて紹介します。



「愛される町にしたいね下水道」

9月10日は全国下水道促進デー



下水道は、その普及率が文化のバロメーターといわれるほど今や健康で文化的な生活にはなくてはならない重要な施設です。また、川や海の水をきれいにして自然環境を守るといった大きな役割も担っています。県内各河川の豊富な美しい水を守り、次の世代に引継ぐことは私達の大切な役目です。

今、富山県では、県・市町村をあげて下水道整備に取り組んでいます。今年度の県・市町村を含めた下水道事業費は二百七十六億円。これは全土木関係予算の約十五パーセントにあたり、十年前の四倍強となっています。六年度末の本県の下水道普及率は二十一パーセントで全国中位。まだまだこれからの事業です。

県内各地で下水道工事が行なわれています。交通の障害や騒音等によりご迷惑をかけますが、皆様の深いご理解とご協力をお願いします。

ご存じですが、

軽油引取税

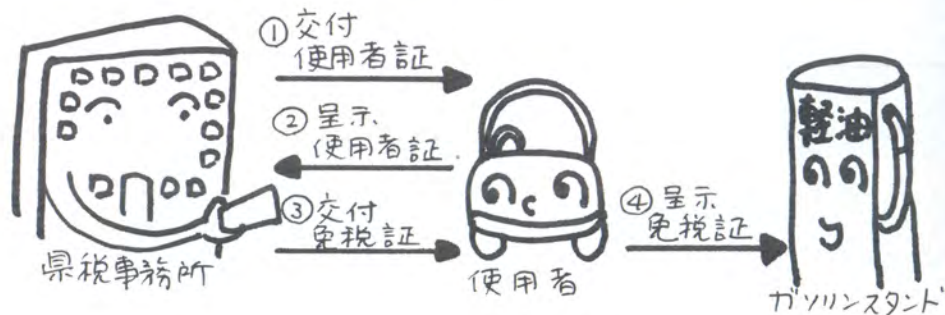
バスやトラックなどのディーゼルエンジンの燃料として消費される軽油には軽油引取税がかかります。税額は、一リットルあたり二十四円三十銭。県内の道路や橋の建設・整備の費用にあられます。

税が免除になる場合

道路の使用には直接関係のない農業、林業、船舶、軌道等の燃料として軽油を使用する場合、税は免除されます。

この場合①あらかじめ県税事務所にて「免税軽油使用者証」の交付を受けてください。②軽油を購入する際に、県税事務所にて「免税軽油使用者証」を呈示して③必要な数量の「免税証」の交付を受けます。④「免税証」をガソリンスタンドに渡しますと税がかからない価格で軽油を購入することができます。

詳しくは、お近くの県税事務所へ。



9月4日～10日は救急医療週間

9月9日は「救急の日」

富山県では、休日や夜間の救急患者のために、開業医による在宅当番医制や休日夜間急患センターを設けています。救急医療は人の生命に関わる大切なものですから、効果的に活用していただくため、次のことにご協力ください。

- 急病の際には、まずかかりつけの医師に相談しましょう。
- 救急車が必要と判断したら、落ちついて一九番にダイヤルしましょう。
- 住所を告げ、さらに目印となる建物などがあれば知らせましょう。
- 病人の状況を的確に説明し、消防署



● 員の指示を受けましょう。

● より重症な救急患者が利用できるよう救急者の安易な利用は避けましょう。

住宅統計調査にご協力を



十月一日、全国いつせいに住宅統計調査が行われます。これは「住宅の国勢調査」といわれ、調査結果は、住宅建設、環境整備などの基礎資料となります。

調査員が九月二十三日から対象となるお宅に伺い、調査票の記入を依頼しますので、ご協力をお願いします。

雇用の安定と福祉の向上をめざして

富山雇用促進センター オープン 10月1日

雇用促進事業団は、地域に密着した業務を一層強力に展開できるように、雇用促進センターを開設します。

▼主な業務

- ★ 従業員の採用から退職にいたる雇用管理相談
- ★ 従業員の職業能力の開発向上についての相談
- ★ 就職や転勤等により住居の移転を必要とする方々のための雇用促進住宅の入居居業務
- ★ 従業員用住宅、福祉施設についての雇用促進融資、勤労者財産形成に関する相談
- ★ 建設労働者の雇用改善を図るための相談、各種助成金の支給
- ★ 求職者の職業選択、再就職促進のための相談
- ★ 産業、地域、年齢間の労働力需給のミスマッチを解消するための職業能力開発についての相談
- ★ 広域就職に関する情報等の収集、提供

雇用促進事業団富山雇用促進センター
富山市安住町7-18 ☎0764(42)1178



高圧ガス試験

種類

- 乙種化学、丙種化学(液石、特別)
- 乙種機械、第二種冷凍機械及び第三種冷凍機械の製造保安責任者試験

- 第一種及び第二種の販売主任者試験

● 液化石油ガス設備士試験
日時/十一月二十七日(日)
午前九時三〇分





場所/県立富山商業高校
願書の受付期間/九月十九日

二十八日

※詳しくは、県庁環境整備課または、(社)富山県エルピーガス協会
(☎0764・41・6993)へ

県政の動き

7月11日～8月10日

- 7月11日 夏の青少年を守る運動県下一斉啓発
- 7月15日 産学官TOYAMAテクノフォーラム'88 
- 7月20日 北陸自動車道開通式
- 7月21日 交通安全セーフティガール出発式
働く婦人のつどい
ふれあいの船結団式（～26日）
- 7月22日 知事のまちなまり・語るつどい（魚津市）
- 7月23日 コロンブス計画第2回ティーチイン
- 7月25日 知事のまちなまり・語るつどい（氷見市）
- 7月26日 第55回国体富山県準備委員会設立発起人会
青年経営者シンポジウム 
- 7月27日 県下消防団消防操
法大会 
- 7月28日 特別養護老人ホームやすらぎ荘竣工式
福光ライフル射撃場竣工式
北陸自動車道等富山県建設促進協議会
富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会
'88いきいき富山パフォーラム
- 7月30日 第32回県青年議会
- 8月1日 水の記念行事
ヤング創造アドベンチャー開会式
- 8月5日 婦人大学校開講式
知事のまちなまり・語るつどい（高岡市）
- 8月6日 第41回富山県民体育大会開会式（～8日）
第2回有峰フェスティバル（～7日）
- 8月8日 境川ダム定礎式
「雄山」竣工式 
- 8月10日 富山港岩瀬船だまり開港式

ウッドルーム富山

生きがい木工教室

花びん飾り
日時／九月十日（土）午後一時半
材料費／千円

日曜大工教室

ティッシュボックス
日時／九月十八日（日）九時～
材料費／千円

※詳しくは、ウッドルーム富山（☎0766・56・1570）へ



ふるさとの自然を知っていますか
自然に親しむ集い

日時／十月二日（日）

場所／朝日県立自然公園（朝日町）

十時四十分までにJR越中宮崎
駅へ集合

▼朝日ふるさと歩道をナチュラリスト
が案内します。昼食、雨具は各自持
参ください。

※詳しくは、県庁自然保護課へ。



ふれあいの森林親子教室

森林と自然の
しくみを観察

日時／十月十五日（土）～十六日（日）
場所／青年の山研修館（福光町刀利）
対象／小学生の子と親

※申し込みは、十月一日まで研修館
（☎0763・55・1222）へ。



第10回 少年の主張

富山県大会

日時／九月二十二日（木）午後一時四
十分

場所／富山市堀川中学校

中学生約一〇名が意見発表します。
中学生の子を持つ親、約三名による
「親の主張」も同時開催します。
※詳しくは、県庁婦人青少年課へ。

住まい

新設「根塚県営住宅」 入居者募集

富山市根塚に県営住宅を新設しました。

戸数／四十戸
間取り／2DK（うち二戸は高齢者用
設計）、2LDK、3DK、3
LDK

入居開始／十月十五日
募集締切り／九月十日

合併処理浄化槽住宅も 住みよいか？ 資金融資

融資限度額／新築三百二十万円、改良・
中古二百万円
利率／年五パーセント

償還期間／新築二十年以内、改良・中
古十年以内

対象／老人同居住宅、耐雪住宅、合併
処理浄化槽住宅等

※詳しくは、県庁建築住宅課または、
富山県住宅供給公社（☎0764・
32・5131）へ

昭和63年9月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
1	木	井波町保健センター前	10:00～15:30
3	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター 高岡駅前	10:00～15:30
4	日	砺波市文化会館前	10:00～15:30
8	木	新湊市役所前	10:00～15:30
10	土	富山西武前 高岡市ジャスコ高岡店前	10:00～15:30
11	日	富山西武前	10:00～16:00
12	月	利賀村農協前	9:30～15:30
13	火	上市町役場前 地鉄上市駅前	9:30～12:00 13:00～15:30
14	木	大山町役場前	10:00～15:30
17	土	富山駅前 魚津市サンプラザ前	10:00～16:00 10:00～15:30
18	日	富山市中央通り	10:00～16:00
22	木	小矢部市役所前	10:00～15:30
24	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
25	日	高岡駅前	10:00～15:30
30	金	小矢部市津沢第2公民館前	10:00～15:30

第39回 勤美展

募集

部門／日本画、洋画、彫刻、工芸、書、
写真

申込み締切り／十月四日（火）
搬入／十月十八日（火）
展示／十月二十日（木）～二十三日（日）

県民会館展示室
※詳しくは、県庁労政課へ。

県民会館美術館
郷土出身作家シリーズ

胎動の書、明日を拓く


大平山 濤展

日本書道会に近代詩文書という新し
いジャンルを開拓した、朝日町出身の
書家の意欲作。

期間／十月八日（土）～二十三日（日）
料金／一般五百円、高・大生三百円、
小・中生二百円、二十人以上団
体割引

講演会／九月三日 吾妻兼治郎氏
九月十日 小川正隆館長
十月一日 酒井忠康氏
いずれも午後二時から。

ハイビジョンで見ようウルトラソニック



ソウルから衛星で送られる映像をハイビ
ジョンの大画面で楽しめます。
日時／九月十七日～十月三日十一時～十九時
場所／富山駅前マリエとやま7Fオルビス
入場は無料です。
※詳しくは、県庁企画調整室へ。



吾妻兼治郎展

吾妻兼治郎展

イタリアで彫刻家マリノ・マリニー
に師事し、以後三〇年、国際的彫刻家
として評価の高い吾妻兼治郎の大個展。
代表作「MU」シリーズをはじめ、約
百六〇点を展示します。
期間／九月三日～十月二十三日
料金／一般七〇〇円、高・大生五〇〇
円、小・中生三〇〇円、二〇人
以上団体割引

見て感じて 県政広報映画

イメージアップビデオ

『大地のうた』

富山の大地に展開する人間や鳥たちの営み



◎大地を飛ぶ鳥たちの眼に、富山はどのように映るのでしょうか。富山湾や田に遊ぶカモメの目を通して表情豊かな富山の四季を描きます。富山に生きる動物たちと人々の奏でる大地のうたを聴いてみてください。

カラービデオ15分
ナレーター 草野大悟
▼利用申し込みは、県庁広報課へ

みなさんの相談窓口

県政については	消費生活については	相談110番
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151	消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)33-3252 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777	○暴力団に関するもの ○家庭問題や民事に関するもの ○困りごと ○覚せい剤、悪質商法、公害に関する苦情や相談 ○過激派(極左暴力)集団に関するもの ○その他警察に対する要望や苦情など、どんな相談にも応じます。 ☎(0764)42-0110 (ヨニワイルイヒトナシ)



ご覧ください・聞いてください、県からのホットニュース

60 TV
テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
9/4 ニューメディア社会を展望して
9/11 日本一のスポーツ県をめざして ~スポーツアドバイザー制度~
9/18 水をいかそう、豊かな未来へ ~とやま国際水シンポジウム~
9/25 充実した高齢化社会を求めて~LL80プラン~
10/2 みんなで「愛したい富山」~イメージアップフォーラム~
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば~クイズ/フォーカス・イン」

RADIO
ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとげします。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

NEWS PAPER
新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
●朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

豊穰と願ふ風の祭り



依屋宗達の代表作の一つとして「風神雷神図」が知られているが、この作品は、古来から伝承されてきた風神信仰をモチーフとしたものである。
「風」を神とするについては、山川草木、日月星辰、風雪、雷雨火などすべて神としてあがめられてきた。古代の人々の自然信仰(崇拜)に由来するものであり、万葉のころ既に風祭りが催されていたことも知られている。峰の上の桜は、滝の瀬ゆ 落ちて流る君が見む その日までには 山下の風な吹きそと うち越えて 名に負へる杜に 風祭せな 『万葉集』巻九

今年も台風シーズンを迎えるが、この「風祭り」には、ともすれば近代人に忘れ去られがちな人間と自然の素朴なかわりを見る思いがする。

文・米原 寛

また、平安時代の古記録にも「風速神社」。「速らわけ神」等の名もみえていることから、庶民は古くから風を神と信じ、様々な祭りや祈りをしてきたことが分かる。県内でも風神信仰は広く分布しており、城端町是安地区の不吹堂、井波町の八乙女山頂にある風神堂、同町の山手にある不吹堂など砺波・婦負・上新川の各地方のフェーン現象の顕著な地域に風神祭りが分布しており、いずれも風・雨による被害を防ぎ、五穀豊穣と天下泰平を祈願したものである。県内に伝承されている風祭りの中でも最も全国的に知られている八尾風の盆も、元は風の悪霊を祓い鎮めるために行われたと

編集後記

「たんぼほ」の取材で、手話講習会に混ぜてもらいました。「明治」は明治天皇のおごひげを表す等、ユニークな由来には思わずナットク。このたぐいなら覚えられそうですが、会話となると大変です。いちいち考えながらやっていたら、それこそお話になりませんしね。☆手話も変わってきて、「おじいさん」を表すのに、昔は親指を曲げていたのが、今はピンと立てるとか。腰の曲がった老人はあまり見かけなくなりました。今回取材でお会いした方々もバイタリティーにあふれていて、圧倒されてしまいました。そして、皆さんいい顔。熱中するものを持っていれば年なんて関係ありません。いい顔をしたおじいちゃん、おばあちゃんになりたいです。



いきいき長寿の パートナー。

《シルバー110番》

健康でしあわせな老後のために
お気軽にご利用ください。

ことし7月2日からシルバー110番がスタートしました。

みなさんが毎日の暮らしの中で、

こまったなあ、どうしようというとき、

医師、弁護士、税理士、社会保険労務士、保健婦などによる

専門相談員が無料で相談ののってくれます。

心配ごとと悩みごとのある方は、気軽に御利用ください。



- 高齢者やその家族などが抱えておられる心配ごと、悩みごとの相談を、親身になってお受けします。
- 高齢者に心豊かな福祉情報を提供します。
- ねたきり老人の介護用品を紹介します。

▶ ご相談は、電話・来所・手紙のいずれでも結構です。

▶ 相談者の秘密は、固く守ります。

▶ 利用料は無料です。

シルバー110番は、

よい シルバー 110ばん

41-4110

問い合わせ先 **富山県高齢者総合相談センター**

〒930 富山市舟橋南町5番14号 富山県社会福祉会館1階

